

[横浜市陶芸センター]
平成 23 年度業務報告及び収支決算

[シンリュウ(株)]

1 施設の概要

施設名	横浜市陶芸センター
所在地	横浜市中区本牧三之谷 59-3
構造・規模	木造平屋建て及び登り窯 1 棟(別棟)
敷地・延床面積	延床面積 396㎡、登り窯延床面積 60㎡
開館日	昭和 45 年 1 月

2 指定管理者

法人名	シンリュウ 株式会社
所在地	埼玉県朝霞市上内間木 752-12
代表者	小澤 忠
設立年月日	平成 2 年 4 月 26 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

平成 23 年度は、第 2 自由作陶教室の新設など作陶経験に応じた様々な講座を開催し、また、陶芸ライブラリーの開設など陶芸知識面での支援活動を展開し、横浜市陶芸センターの使命である、横浜市における作陶活動の拠点施設として、陶芸の普及、市民文化の振興に寄与するため、限りあるスペースを最大限に活用する努力と、陶芸文化の発信役という新しい役割を確立するために尽力しました。

(2) 23 年度の業務の方針及び達成目標の総括

①事業の総括

- ・第 2 自由作陶教室を新規に開催し、自由作陶教室利用者の増加に対応しました。また、講座用教室を利用することにより、効率的に施設を活用することができました。
- ・一日体験教室の開催日数を 4 回増やし、飛び込み参加もできる、より参加しやすい講座とし、陶芸初心者の陶芸体験機会を増やしました。
- ・陶芸ライブラリーを開設し、陶芸関連図書の閲覧、貸し出しを開始しました。陶芸知識の基地

化推進のため、今後も蔵書の充実等に努めます。

- ・利用者の要望等を踏まえ、当初計画に加え、4講座追加開催しました。

②運営について

- ・年間 357 日開館し、適切な施設運営と、利用者の利用促進に努めました。
- ・貸室及び自主事業の延利用者数は、合わせて 17,046 人となり、対前年比プラス 1,626 人、11% 増となりました。

③管理について

- ・点検等を確実にいき、施設、設備、備品の適切な管理ができました。
- ・前年度に引き続き実施した排水溝や桝の汚泥掃除、汚泥量の記録・分析により、桝の増設を 24 年度で実施する予定です。

① その他について

- ・日報、月報、業務計画書、業務報告書の作成、業務評価、その他指定管理者業務について、適切に対応し、横浜市との連絡調整も密にし、円滑な業務遂行に努めました。

4 業務の達成状況

(1) 事業について

ア 陶芸の普及と市民の作陶技術向上の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 体験型教室の開催	①●□一日体験教室を年間 33 日開催する。目標利用者数 500 人 ●□親子陶芸教室を年間 20 回開催する。目標利用者数 700 人 ●□陶芸祭期間中、手びねり体験、ロクロ体験、楽焼の教室を開催する。目標利用者数 100 人	①初めて陶芸に接する方の体験教室として、計画通り開催できました。一日体験教室の利用者数は目標を下回ったものの、公園来園者の飛び込み参加も受け入れ、気軽に利用できる施設をアピールできました。	①●一日体験教室の開催 □開催回数 33 回 33 日 □利用者数 430 人 ●親子陶芸教室の開催 □開催回数 20 回 20 日 □利用者数 751 人 ●陶芸祭期間中に体験教室を 3 講座開催
② 基礎教室の開催	②●□手びねり初級教室を年間 3 回、24 日開催する。目標利用者数 500 人 ●□手びねり中級教室を年間 3 回、24 日開催する。目標利用者数 500 人 ●□電動ロクロ初級教室を年間 3 回、21 日開催する。目標利用者数 300 人 ●□電動ロクロ中級教室を年間 3 回、21 日開催する。目標利用者数 300 人	②計画通り開催できました。手びねり教室の利用者は、目標を下回りましたが、電動ロクロ教室は、利用者の方が基礎から学び直す目的で受講されるケースがあり、利用者が増えました。	②●手びねり初級教室開催 □開催回数 3 回 24 日 □延利用者数 325 人 ●手びねり中級教室開催 □開催回数 3 回 24 日 □延利用者数 356 人
③ 自律型教室の開催	③●□自由作陶教室を年間 351 日開催。目標利用者数 6,100 人	③自分のペースで作陶できる自由作陶教室と今年度新たに開催した第 2 自由作陶教室を計画通り開催できました。利用者が大幅に増え、陶芸センターのメイン教室	●電動ロクロ初級教室の開催 □開催回数 3 回 21 日 □延利用者数 402 人 ●電動ロクロ中級教室の

	<p>●□第 2 自由作陶教室を年間 47 日開催。目標利用者数 400 人</p>	<p>として定着しています。</p>	<p>開催</p> <p>□開催回数 3 回 21 日</p> <p>□延利用者数 438 人</p> <p>③●自由作陶教室の開催</p> <p>□開催日数 351 日</p> <p>□延利用者数 7,220 人</p> <p>●第 2 自由作陶教室開催</p> <p>□開催日数 47 日</p> <p>□延利用者数 832 人</p>
--	--------------------------------------------	--------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イ 市民の主体的な作陶活動の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①専門技能習得教室の単発講座の開催</p> <p>②多くのテーマの講座の企画、実施</p> <p>③作品発表の機会の提供</p>	<p>①●□専門技能習得講座として、電動ロクロ水挽き徹底教室を年間 3 回、12 日、絵付け教室を年間 2 回、6 日、特定のやきもの作り教室を年間 2 回、8 日開催する。目標利用者数 300 人</p> <p>②●基本となる酸化焼成の他に、還元焼成、上絵付け焼成、サヤ鉢焼成、穴窯焼成など各種の焼成も、別途講座にて実施する。</p> <p>●□普段の作品サイズ制限を超えた、大物が焼成できる講座を、月 2 名ずつ、毎月開催する。</p> <p>・そのほか利用者の要望等も考慮しながら、単発講座を企画し、できるだけ実施できるよう努める。</p> <p>③□利用者の作品発表の場として、陶芸祭時に作陶展を年 1 回開催する。</p>	<p>①専門技能習得教室を計画通り開催し、指標を達成しました。</p> <p>②各種焼成を体験できるよう、酸化焼成の他、還元焼成、大物焼成、穴窯焼成、楽焼焼成、サヤ鉢焼成、上絵付け焼成を講座として実施しました。</p> <p>また、利用者の要望等を踏まえ、追加講座として、一日絵付け教室(染付、上絵付け)、英語による電動ロクロ水挽き講座を実施しました。</p> <p>③陶芸祭時、作陶展を開催し、出品者やその関係者が多く来館されました。また、花器と生け花展のコーナーを設け、利用者の方に展示していただきました。</p>	<p>①●□電動ロクロ水挽き徹底教室を年 3 回 12 日、絵付け教室を年 2 回 6 日、特定のやきもの作り教室を年 2 回 8 日開催</p> <p>□延利用者数 323 人</p> <p>②●各種焼成講座開催</p> <p>□還元焼成講座参加者 784 人、大物焼成講座参加者 24 人、穴窯焼成講座参加者 70 人、楽茶碗焼成講座参加者 24 人</p> <p>●一日絵付け教室の開催</p> <p>□開催回数 2 回 3 日</p> <p>□延利用者数 30 人</p> <p>●英語による電動ロクロ水挽き講座開催</p> <p>□開催回数 1 回 1 日</p> <p>□利用者数 7 人</p> <p>③□作陶展出品者 84 人</p> <p>□生け花展出品者 10 人</p>

ウ 市内の公益的作陶活動に対する支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①陶芸指導者対象の研修講座の開催</p> <p>②市民団体等へ</p>	<p>①●□小中高校の陶芸担当指導者のための研修講座を年 1 回開催する。目標利用者数 20 人</p> <p>②●□各団体の作陶要望に応じて</p>	<p>①計画通り開催し、陶芸指導に当たってのアドバイスや基礎的実技指導を行いました。</p>	<p>①●指導者研修講座の開催</p> <p>□開催回数 1 回 1 日</p> <p>□利用者数 15 人</p> <p>②●団体教室の開催</p>

<p>の団体教室の開催</p> <p>③公益的作陶活動に対する情報提供等による支援</p>	<p>個別教室を設定し、団体教室として年10件以上実施する。目標利用者数280人</p> <p>③□小中高校に対し、研修講座の案内のほか施設の紹介や陶芸祭などの情報を、年1回DMにて提供する。</p> <p>□学童保育を中心に年1回DMを実施、団体教室案内のほか新年度パンフレット等の情報を提供し、施設の利用促進を図る。</p> <p>・学校をはじめ作陶活動を行っている団体、個人からの作陶に関する相談あるいは出張教室等の要望があった場合は、適切に対応する。</p>	<p>②学童保育向け団体教室DMの効果により、実施件数、利用者人数ともに、達成指標を大きく上回ることができました。</p> <p>③小中高校・各施設の陶芸指導者や学童保育に対し、該当する講座案内DMを実施しました。指導者研修講座案内DMは、直接受講に結び付きにくい状況ですが、情報提供という目的のためにも引き続き実施していく予定です。</p>	<p>□開催回数 20回20日</p> <p>□利用者数 371人</p> <p>③□指導者研修講座のDM 年1回実施</p> <p>□団体教室のDM、年1回実施</p>
-----------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

エ 陶芸と市民とを結びつける場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①気軽に参加できる教室の開催	①・見学者がその場で陶芸体験・絵付け体験ができるようにした一日体験教室の回数を増やし、三溪園や本牧市民公園とも連携し、より多くの人に陶芸体験機会を提供する。	①気軽に参加できる教室として、一日体験教室を、土日に年間33回開催しました。全くの陶芸初心者に対し、土に親しむ機会を提供できました。	①一日体験教室の実施回数を4回増やし、飛び込みでも対応できるような体制で実施
②市民が興味を持つイベントの開催	②・陶芸祭の開催により一般の来館者を増やすことで、施設の周知を図るとともに、期間中に開催する体験教室では参加条件を設けずだれでも土に親しめる機会を提供する。	②陶芸祭を開催し、作陶展や体験教室を実施しました。利用者がボランティアとして運営にもかかわり、多くの一般市民の参加も得て、イベントを盛り上げることができました。	②11月3日より4日間開催。来場者は2,031人 体験教室は、手びねり、ロクロ、楽焼の3講座を実施。
③市民の目に触れる情報の発信	③・陶芸祭を核にした広報、広告活動を展開し、集客増を図る。	③陶芸祭チラシを作成し、PRボックスでの配布、DM、新聞折り込み広告のほか、記事掲載のための広報活動を実施しました。また、地元町内会の協力を得て、掲示板への掲出、回覧版での告知を行いました。	③陶芸祭関連記事掲載は、朝日新聞、神奈川新聞等4紙。

オ 持てる資源を最大限に活用した取り組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①登り窯施設の活用	①・登り窯を、見学用施設として活用するほか、各講座案内パネルを掲出するなど、公園利用者に対して施設の周知を図る。 ・登り窯を施設の象徴的扱いとし、印刷物等で施設紹介する際、登り窯の写真も掲載する。	①見学用施設として活用するほか、公園利用者に対し、当センターの認知及び一日体験教室への参加誘導ができました。 ②●計画通り穴窯焼成講座を実施し、利用者は、薪を使った焼成を体験でき、普段と違った作品を作ることができました。	①一日体験教室をはじめ、各講座案内パネルを掲出するとともに、印刷物には登り窯を含めた写真を掲載しました。 ②●穴窯焼成講座の開催 参加者 70人
②登り窯に関連付けた穴窯焼成講座の実施	②●登り窯と同じく薪を使った焼成として関連付けた、穴窯焼成講座を実施する。		

(2) 運営について

ア 作陶活動のための施設の提供について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]								
①適切に施設を開館する	①□開館について <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>開館日数</td> <td>357日</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>9時～17時</td> </tr> </table> <p>□休館日 9日 (休館日：清掃・空調機点検 2日、電気点検 1日、年末年始 6日) □開館時間、休館日については、館内掲示やホームページ等で周知を図る。</p>	開館日数	357日	開館時間	9時～17時	①計画通り実行し、適切に開館、運営ができました。 ②計画通り実行し、適切な料金設定と徴収を行いました。 ③成形室の貸し出しにより、自由な作陶機会、場の提供を行いました。	①□開館日数 357日 □休館日 9日 □館内掲示やホームページで周知 ②□陶芸成形室利用料金 午前、午後各 500円 一日 1,000円 □酸化焼成料 100gごとに 100円 ③□利用状況等について (稼働率は、日にち単位)				
開館日数	357日										
開館時間	9時～17時										
②適切に利用料金設定を徴収する	②□利用料金について <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>一日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陶芸成形室</td> <td>500円</td> <td>500円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>□焼成料(酸化焼成)は、焼成する前の粘土 100gまでごとに 100円</p>		午前	午後	一日	陶芸成形室	500円	500円	1,000円		・貸室 利用日数 351日 稼働率 98% 延利用者数 5,369人 ・自由作陶教室 利用日数 351日 稼働率 98% 延利用者数 7,220人 ・講座用教室 利用日数 253日 稼働率 71% 延利用者数 4,457人
	午前	午後	一日								
陶芸成形室	500円	500円	1,000円								
③貸室による自由な作陶機会、場の提供	③□貸室稼働率 98% (利用日数 351日/開館日数 357日) □貸室目標利用者数 5,000人										

	□貸室目標利用料収入（酸化焼成料含む）4,000,000円		□貸室利用料収入 4,478,350円
--	-------------------------------	--	------------------------

イ 利用促進及び利用者サービスの向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設の利用促進、効果的な広報・宣伝活動	①□通年使用の施設紹介パンフレットを改訂し（年1回）、広報ツールとして活用のほかPRボックスにて配布する。 □すべての講座について、募集チラシを作成、館内にて配布する。 □陶芸祭チラシを作成し（年1回）、PRボックスでの配布、新聞折り込み広告、DM等で活用する。 ・市の刊行物、フリーペーパー、一般紙誌、陶芸誌等のメディアへの情報提供により、記事掲載を推進する。	①施設の利用促進のため、計画通り効果的な広報、宣伝活動を行いました。 ②利用者の声、要望を把握し、運営に反映させるべく、利用者サービス向上の取組を行いました。 小道具の貸し出しや、講座の追加開催等の作陶面でのフォローや、陶芸ライブラリー等の情報面でのサービス向上にも取り組みました。その結果、高い満足度を得ることができました。 ③ホームページの全面リニューアルを行うとともに、新着情報欄の更新等、効果的な運用を行いました。	①□通年使用の施設紹介パンフレット作成 年1回 □すべての講座について、募集チラシ作成 □陶芸祭チラシ作成年1回 □新聞折り込み広告の実施年1回 □PRボックスにてパンフレット等の配布年3回 □DMの実施 年3回 □記事掲載実績 9媒体 25回 ②□小道具の無料貸し出し実施 □すべての講座について、利用者アンケート実施（回収数、723通） ・教室内容満足度 97% （満足85%、やや満足12%） ・施設設備満足度 91% （満足74%、やや満足17%） ・スタッフ満足度 97% （満足89%、やや満足8%） ③□全面リニューアル実施 □新着情報欄の更新 年23回 □作品ギャラリーに、陶芸祭作陶展の人気作品集を掲載 □陶芸ライブラリー開設に伴い、バナーを新設 □平成24年度全国公募展応募要項のバナーを新設
②利用者サービス向上の取組	②□貸出用小道具を配置し、必要な方には無償で提供する。 □すべての講座の利用者に対し、アンケートを実施し、満足度及び利用者ニーズ等を把握し、今後の運営に反映させる。		
③ホームページの作成と運用	③□ホームページの全面リニューアルを行い、より見やすい内容とする。 □ホームページの新着情報欄を月1回以上更新し、最新の情報を案内する。 □ホームページの作品ギャラリーをより充実させ、陶芸祭人気作品集のほか、利用者の作品紹介等身近なメディアとして活用する。		

ウ 組織的な施設運営について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]																								
<p>①適切な人材の配置を実施</p>	<p>①□人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="456 293 783 1406"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所長</td> <td>1人</td> <td>事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務</td> </tr> <tr> <td>社員</td> <td>2人</td> <td>一部講師・貸室アドバイザー兼務</td> </tr> <tr> <td>事務員</td> <td>3人</td> <td>ローテーション勤務</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>8人</td> <td>ローテーション勤務</td> </tr> <tr> <td>貸室アドバイザー</td> <td>3人</td> <td>一部講師兼務、ローテーション勤務</td> </tr> <tr> <td>助手</td> <td>2人</td> <td>非常勤</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	センター長	1人		所長	1人	事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務	社員	2人	一部講師・貸室アドバイザー兼務	事務員	3人	ローテーション勤務	講師	8人	ローテーション勤務	貸室アドバイザー	3人	一部講師兼務、ローテーション勤務	助手	2人	非常勤	<p>①計画通り実行し、適切な人員配置と組織的な施設運営を行いました。</p> <p>②計画通り実行し、適切かつ効果的な勤務体制を築くことができました。</p>	<p>①□人材の配置は、指票の通り達成</p> <p>②□勤務体制は、指標の通り達成</p> <p>□職務分担に沿って、効率的な業務遂行を達成</p>
項目	人数	備考																									
センター長	1人																										
所長	1人	事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務																									
社員	2人	一部講師・貸室アドバイザー兼務																									
事務員	3人	ローテーション勤務																									
講師	8人	ローテーション勤務																									
貸室アドバイザー	3人	一部講師兼務、ローテーション勤務																									
助手	2人	非常勤																									
<p>②適切かつ効果的な勤務体制の確立</p>	<p>②□勤務体制について</p> <p>センター長は月3日その他随時必要時、所長は週3日出勤。各講座指導部門では、講師、貸室アドバイザー、助手をローテーション勤務とし、講座運営に支障のないようにする。事務部門では、毎日2人以上のローテーション勤務体制とする。</p> <p>・職務分担表の作成、徹底により、効率的な業務遂行を行う。</p>																										

エ 施設見学等への対応について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設見学等への対応	①・施設見学や施設撮影、取材等について、利用者の妨げにならない範囲で、積極的に対応する。	①利用者の妨げにならないよう配慮し、積極的に対応しました。	① <input type="checkbox"/> 一般見学 年1,053人 <input type="checkbox"/> 取材 年1回 (tvk番組「ズバリ！横濱」)

オ その他の運営目標について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①経費削減の努力	①・経費削減のため、講師ローテーションの工夫や事務経費削減に努める。 ・教室運営にかかわる補助的作業について、出来る範囲のものは職員の作業により、経費抑制を図る。	①商品仕入れと修繕費は予算を上回ったものの、計画通り経費削減ができました。特に、講師ローテーションの工夫と社員の兼務により、事業費の削減が、また、事務経費の見直しにより事務費の削減が実現しました。	① <input type="checkbox"/> 事業費実績 15,121 千円 (対予算比 91%) <input type="checkbox"/> 事務費実績 5,014 千円 (対予算比 77%)
②指定管理料のみに依存しない収入構造の検討	②・自主事業の受講率を高め、効率的に受講者を獲得するとともに、平成 24 年度実施の全国公募展準備の中で、外部とのタイアップの可能性を探る。	②第 2 自由作陶教室の新設と自主事業の受講率向上の結果、事業収入を大きく増やすことができました。一方、平成 24 年度全国公募展に一般企業の協賛を得るため、アプローチしましたが、実現できませんでした。	② <input type="checkbox"/> 事業収入実績 21,375 千円 (対予算比 115%) <input type="checkbox"/> 24 年度全国公募展協賛社なし
③陶芸知識・情報の基地化を進める	③・陶芸図書館構想の今年度立ち上げを目標に、蔵書の種類、場所、運用方法、告知方法等検討し、準備を進める。	③陶芸知識・情報の基地化の一環として「陶芸ライブラリー」を開設しました。	③ <input type="checkbox"/> 11 月 24 日開設(蔵書数 184 冊) <input type="checkbox"/> 貸出利用者数(3 月末現在)44 人
④自主事業での優遇制度の実施	④・介護ボランティアいきいきポイント事業への協力、濱ともカード事業への協賛等、市の事業への協力を行い、自主事業での優遇制度を探る。	④自主事業での優遇措置として、介護ボランティアいきいきポイント事業への協力、濱ともカード事業への協賛を行いました。	④ <input type="checkbox"/> いきいきポイント特典として、一日体験教室 10 組 20 名の招待券を提供 <input type="checkbox"/> 濱ともカード提示により、陶芸祭手びねり体験教室の受講料を半額に

(3) 管理について

ア 保守管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設の適切な保守管理	① <input type="checkbox"/> 施設の毎日の見回り点検により、適切な維持管理を行う。	①施設の毎日の見回りのほか、8 月には施設簡易点検	① <input type="checkbox"/> 毎日の見回り点検及び年 1 回の施設簡易点検実

<p>②設備の適切な保守管理</p>	<p>そして、早期に修繕箇所を発見し、横浜市に報告するとともに対策を検討する。</p> <p>②<input type="checkbox"/>空調機器定期点検を年2回行う。</p> <p>・日常使用していく中で、不具合、異常がないか常にチェックし、管理を徹底することにより、事故を未然に防ぐ。</p> <p><input type="checkbox"/>粘土や釉薬を直接下水に流さず、下洗い箱を設け一度沈殿させたうえ、上水だけを流すよう毎日の作業として徹底する。</p> <p><input type="checkbox"/>排水溝、桝の掃除を年2回実施し、汚泥処理をするとともに、設備に支障が生じないように努める。</p>	<p>を実施し、適切な保守管理に努めました。特に、登り窯建屋支柱については腐食が激しく、倒壊の恐れがあったため、支柱の取り換え、補強工事を行いました。</p> <p>②空調設備、給排水設備、消防設備、ガス設備等について、毎日の使用の中で常に管理を徹底することにより、設備の適切な保守管理に努めました。</p> <p>③陶芸窯の適切な運転、保守管理に努めるとともに、電動ロクロ、土練機等その他陶芸機器についても、機能点検を行い、適切な保守管理に努めました。</p>	<p>施。</p> <p><input type="checkbox"/>修繕実績 登り窯建屋木製支柱の取り換え、補強工事1件</p> <p>②<input type="checkbox"/>空調、給排水、消防、ガス等、設備の日常管理、機能点検実施</p> <p><input type="checkbox"/>空調機定期点検 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>粘土釉薬を直接下水に流さないよう毎日水洗い管理を徹底</p> <p><input type="checkbox"/>排水溝、桝の掃除年2回</p> <p><input type="checkbox"/>修繕実績 ブレーカ交換工事1件 門扉修理1件</p> <p>③<input type="checkbox"/>陶芸窯の毎月点検実施</p> <p><input type="checkbox"/>陶芸窯の年1回定期点検実施</p> <p><input type="checkbox"/>焼成管理表の作成</p> <p><input type="checkbox"/>修繕実績 電動ロクロ修理5台 電気窯ヒータ線工事2件 タタラ機部品交換1件 土練機コード交換1件</p>
<p>③備品等の適切な保守管理</p>	<p>③<input type="checkbox"/>陶芸窯の安全な運用のため、毎月1回の点検のほか年1回の定期点検を行う。</p> <p><input type="checkbox"/>全ての焼成について焼成管理表を作成し、適切な焼成管理を行う。</p>		

イ 環境維持管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①施設を清潔に、そして安全な状態に保つ努力</p>	<p>①<input type="checkbox"/>清掃業務は清掃業者に委託し、毎日清掃と年2回の定期清掃を行うとともに、建物周辺的美観維持のため、草刈り等適宜手入れをする。</p>	<p>①施設を清潔に、そして安全に保てるよう努力しました。</p>	<p>①<input type="checkbox"/>委託清掃業者による毎日清掃と年2回の定期清掃の実施</p> <p><input type="checkbox"/>施設周りの草刈り、屋根・樋掃除を適宜実施</p>
<p>②廃棄物の抑制と適正な処理</p>	<p>②<input type="checkbox"/>使用済み粘土、削りかす粘土、使用済み釉薬は、出来るだけ再利用するため分別回収箱を設けるなど、毎日適切に管理する。</p> <p><input type="checkbox"/>再生を基本とし、廃棄物を最小限に抑える努力をするが、最終的に再生できないものは産業廃棄物として、横浜市ルート回</p>	<p>②使用済み粘土や釉薬は、できるだけ再生をし、産業廃棄物を抑える努力をしました。しかし、最終的に再生できないものは、産業廃棄物として、ルート回収で適正に廃棄しました。</p>	<p>②<input type="checkbox"/>粘土釉薬の再生のため、分別回収を毎日徹底</p> <p><input type="checkbox"/>産業廃棄物の毎月管理、ルート回収による適正な廃棄</p>

	収にて適正に廃棄する。管理状況を月1回チェックする。		
--	----------------------------	--	--

ウ 保安警備業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①適切な保安警備業務の遂行	①・施設の保安警備業務は警備業者に委託し、24時間警備を行う。 (機械警備)	①計画通り、適切な保安警備業務を行いました。	①委託警備業者による、24時間警備の実施

エ 公園管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①適切な公園管理業務の遂行	①・公園内にある施設ということを常に意識し、環境維持に努めるとともに、本牧市民公園指定管理者との連絡調整を行う。	①計画通り、適切な公園管理業務を行いました。	①公園内の環境維持に努めるとともに、本牧市民公園指定管理者との連絡調整を実施

オ 防災等について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①防災等への適切な対応	①□利用者も含めた避難訓練を年2回実施する。 ・職員、講師に対し、防災マニュアル、緊急連絡網を確認、対応の徹底を図る。 ・陶芸窯の焼成について、スタッフの安全教育、防火管理を徹底し、1年間無事故を目指す。	①計画通り、防災等への適切な対応ができました。避難訓練では、利用者、清掃業者の方にも協力をお願い、該当曜日全員参加で行いました。	①□避難訓練 年2回 ・防災マニュアル、緊急連絡網の確認、徹底 ・窯焼成の安全教育、防火管理の徹底 ・1年間無事故達成

カ 緊急時の対応について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①緊急時の対応	①・事件、事故、災害等の緊急事態が発生した場合は、ただちに必要な措置をとるとともに、市と協力して適切に対応する。	①計画通り、緊急時に、適切な対応をしました。	①緊急事態が発生した時は、必要な措置をとるとともに、市と協力して対応

キ 光熱水費の削減努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①光熱水費の削減への取組	①・電力、水、ガスの使用量について、記録、分析し、光熱水費の削減に努める。	①計画通り、光熱水費の削減に取り組みました。特に、東日本大震災の影響による	①電力、水、ガスの使用量実績について毎月記録、分析 □7~9月電気使用量

		節電への取組を積極的に行い、前年度に比べ、大幅に節電できました。	2,629 k w (対前年比 66%)
--	--	----------------------------------	----------------------

(4) その他について

ア 日報及び月報の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①日報、月報の作成と管理	①・日報、月報を作成・管理する。 ・日常業務の中でPDCAサイクルを推進することにより、短いサイクルでの早い対応ができるよう、努力する。	①計画通り、日報、月報の作成と管理を行いました。	①・日報、月報の作成、管理 ・利用者の要望等を受け、新講座の追加開催 4講座

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①業務計画書、業務報告書の作成と管理	①・業務計画書及び業務報告書について、定められた様式に沿って作成、管理を行う。	①計画通り、業務計画書、業務報告書の作成と管理を行いました。	①業務計画書、業務報告書の作成と管理

ウー1 業務評価（モニタリングの実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①モニタリングの実施による業務評価	①・モニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告する。	①計画通り、モニタリングの実施による業務評価を行いました。	①利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況を報告

ウー2 業務評価（自己評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①自己評価の実施による業務評価	①・業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努める。	①計画通り、自己評価の実施による業務評価を行いました。	①業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を実施

ウー3 業務評価（第三者による評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①第三者評価の実施による業務評価	①・業務評価にあたり、外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対処する。	①23年度内に、第三者評価の実施は、ありませんでした。	

エ 保険及び損害賠償の取り扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 保険の加入と損害賠償への対応	①・賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入し、契約書および保険証書の写しを市に提出する。	①計画通り、保険の加入と損害賠償への対応を行いました。	①賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入し、写しを市に提出

オ 法令の遵守と個人情報保護について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 法令の遵守と個人情報保護への取組	①・法令、条例及び規則を遵守し、利用者の個人情報の取り扱いを適正に行い、事故のないように努める。	①計画通り、法令の遵守と個人情報保護への取組を行いました。	①法令、条例及び規則の遵守 利用者の個人情報の適正な取り扱い

カ 情報公開への積極的取組について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 情報公開への積極的取組	①・情報公開規程を作成し、情報開示請求等に対し、適切に対応する。 ・業務計画書、業務報告書をはじめ、施設運営情報等をホームページで公開していく。	①計画通り、情報公開への積極的取組を行いました。	①・情報公開規程の作成 ・施設運営情報等のホームページでの公開

キ 市及び関係機関等との連絡調整について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 市及び関係機関との連絡調整	①・月次モニタリングにて業務の報告、確認を行うが、重要な案件、緊急な案件については、随時市に報告・協議し、円滑な業務遂行を目指す。	①計画通り、市及び関係機関との連絡調整を行いました。	①月次モニタリングでの業務の報告、確認のほか、随時市に報告、協議し、円滑な業務遂行

ク その他の留意事項について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① その他留意事項への対応	①・許認可及び届出等の手続について、必要な場合、これを行う。 ・施設の目的外使用の手続について、自動販売機他必要な場合、これを行う。	①その他留意事項について、計画通り実行しました。	①・許認可及び届出等の手続実施 ・自動販売機設置に伴う目的外使用手続の実施 ・名札の着用

	<ul style="list-style-type: none"> ・名札の着用について、施設職員はこれを実行する。 ・人権の尊重について、職員に対し人権に関する研修を年1回実施する。 ・近隣対策の実行について、管理・運営上の近隣への迷惑行為には充分留意し、対策を講じる。 ・書類の管理について、施設の竣工図等重要書類を適切に管理する。 ・行政機関が策定する基準等の遵守について、これを行う。 ・法律の制定及び改正への対応について、これにより今後業務が発生した場合、市と協議のうえ対応する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する研修を年1回実施 ・近隣対策として、本牧市民公園内の環境維持 ・施設の竣工図等重要書類の管理 ・行政機関が策定する基準等の遵守 ・法律の制定及び改正について、市と協議、対応
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 収支決算額について

収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	18,000,000	18,000,000	0	横浜市より
利用料金収入	4,000,000	4,478,350	-478,350	貸室利用料、貸室焼成料
事業収入	18,650,000	21,375,850	-2,725,850	自主事業収入（自主事業教室、粘土代等）
その他収入	350,000	273,495	76,505	自販機売上手数料等
合計	41,000,000	44,127,695	-3,127,695	

支出				
人件費	12,250,000	11,717,890	532,110	給与、法定福利費、通勤費等
管理費	5,700,000	5,036,146	663,854	修繕費、水道光熱費、施設管理費等
(内訳) 修繕費	1,000,000	1,185,202	-185,202	修繕、メンテナンス
燃料費	400,000	336,917	63,083	L P ガス、灯油
光熱水費	1,600,000	1,049,047	550,953	電気、水道
施設管理費	2,700,000	2,464,980	235,020	清掃、警備委託管理
事業費	16,560,000	15,121,704	1,438,296	粘土等商品仕入れ、講師報酬および交通費等
事務費	6,490,000	5,014,282	1,475,718	広告宣伝費、通信費、消耗品費、消費税等
合計	41,000,000	36,890,022	4,109,978	

収支計	0	7,237,673	-7,237,673	
-----	---	-----------	------------	--